

# インタビューコーナー

## インタビューコーナー

…地域で実践活動されている方にインタビューしました…

### わが町の財産～富田川～



**富田川を美しくする会（昭和 49 年設立）**

**会長 大野 貞基さん（62 歳）**

「富田川を美しくする会」は、これまで 40 年近くにわたり、富田川を中心とした環境美化活動を続けておられます。この長年の功績が評価され、この度、平成 25 年度瀬戸内海環境保全功労者表彰を受賞されました。

そこで、現会長の大野貞基さんにお話を伺いました。

#### 【富田川をとりまく環境】

富田川の流れの、すぐ北側には山があります。中腹には川崎観音があります。

川崎観音は、毎月縁日があり、こどもたちは小さい時から掃除に行っています。富田川周辺は市民の散歩コースにもなっています。景観も素晴らしいですが、人と人との繋がりのある恵まれた場所で、地域の財産と思っています。



【音羽橋から北を望む風景】

#### 【活動をはじめたきっかけは？】

私は旧新南陽市役所の職員でした。以前、新南陽では、職員は地元の地域活動に積極的に参加しなさいという「地域担当職員制度」があり、私もここに住んで 30 年以上になりますが、その当時から自治会の役員を引き受けて、いろんな人を知ることができ、現在に至っています。

## 【会員はどのような方ですか？】

昭和49年に富田川下流域の地元有志の呼びかけで、鯉やホタルを放流したり、流域に花木を植えることから始めて地域の川を美しくすることで憩いの場を作り、情操豊かな人と町づくりを図ろうと、明石、川崎西、川崎東、川崎南、川手の5自治会で構成され、現在は約800世帯が会員です。

## 【どのような活動を行われているのでしょうか？】

- ① 鯉の稚魚や成魚を放流し、今では音羽橋の下には多くの鯉が集まり、市民の憩いの場となっています。
- ② 設立時からツツジの植樹を続け、現在では流域の両岸に広がり、刈り込みや肥料やりの維持管理を行っています。
- ③ こどもたちへの地域の思い出と環境への関心が高まるよう、5月には、こいのぼりを両岸から渡しています。
- ④ 毎年8月には河川敷で納涼盆踊り大会を実施しています。準備時には親子三世代の清掃活動などコミュニティづくりの場として楽しんでいただいています。今年も、にぎやかに実施しました。
- ⑤ 堤防の草刈りを年5回程度行っています。老人クラブや親子三世代の協力、富田川の一斉清掃の日を設けるなど年間を通じて実施しています。
- ⑥ 「富田川を美しくする会」は周南市の観光協会、富田東地区まちづくり協議会、とんとん会館運営協議会の会員でもあります。他団体との相互の連携もとっています。
- ⑦ 川崎会館を活動の拠点に、会館行事等にも積極的に参加しています。



【富田川の鯉】



【5月のこいのぼり】



【富田川から見た風景】

**【どのようなことに苦労されていますか？】**

若手役員の参加です。私も 62 歳で、30 歳の当時から一緒に活動してきた仲間も少し年をとりました。30 代の会員が参加してくれて、役員としてやってくれれば、安心できますね。

それと行事のマンネリ化です。納涼盆踊り大会にしても、新しい内容等の意見が出て議論できるような雰囲気になってほしいですね。

**【活動されて来られた中で一番うれしかったことは何ですか？】**

納涼盆踊り大会の準備等で、他の自治会の人を知り、その後に顔を合わせた時、お互い「この前はおつかれさまでした」のあいさつを交わした時にやりがいを感じます。

とにかく、みんなが一つの目標に向かって協力していければ、より良い地域になると思います。

**【これからの「富田川」と「美しくする会」はどのようなになればよいと思われ  
ますか？】**

昔の富田川は汚かったですが、公共下水道の普及により、昭和 49 年ぐらいから、きれいになりましたね。

自然護岸は防災面では危なく感じますが、環境面では残して調和をとってほしいと思います。

富田川も美しくする会もみんなのものです。恵まれた地域づくりの財産を次の世代、また次の世代へと引き継いでいけたらいいなと思います。

## 地域全員が会員です！～大潮の里をまもる会～



大潮の里をまもる会（平成22年設立）

会長 石川 光夫さん（73歳）

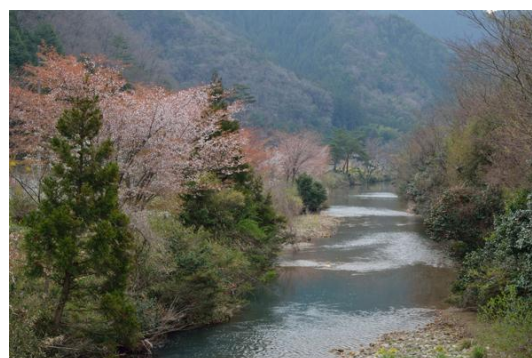
大潮地区は本市の最北端、島根県との県境に位置し、中国山地の麓、錦川の源流が流れる山紫水明の地です。

大潮地区では、祭りやクリーンアップ、エコツーリズム、福祉活動など、様々なアイデアを企画、実践し、積極的に独自の地域づくりをすすめていらっしゃいます。これら大潮地区の活動の主体である「大潮の里をまもる会」会長の石川光夫さんにお話を伺いました。

### 【大潮地区はどんなところですか】

澄んだ空気、おいしいお米、透き通るようにきれいな水、そして四季を通じて美しい自然に恵まれた里山です。

また、高齢化は進んでいますが、地域住民がお互いに支え合い助け合っている、たいへんまとまった地域だと思います。



【咲き始めた川沿いの桜】

### 【活動を始められたきっかけは何でしょう】

もともとは青年団であった「潮路会<sup>しおじかい</sup>」を復活し活動していました。

平成元年に地元の女性グループが中心になって運営する「大潮田舎の店」をオープンし、大潮産の農林産物やその加工品の販売、また、街の住民との体験交流などの活動を応援していましたが、この活動を地域全体に広げ、みんなに認知される組織にしたいと考え、大潮地域ビジョンや推進体制を取り決め、平成22年3月に「大潮の里をまもる会」を設立しました。

#### 大潮地域ビジョン

1. 美しい自然を守り、快適な地域にしていこう。
2. みんなが集い、助け合える地域にしていこう。
3. 伝統を後継者に引き継いでいこう。
4. 農地を守る営農のしくみをつくろう。
5. 施設を有効活用して地域を活性化しよう。
6. 地域の資源を活かし、地域の人が活躍できる交流活動をしていこう。

## 【会員はどのような方でしょう】

大潮地区住民全員が会員です。さらに、市内や下松市、防府市などにお住いの「大潮ファンクラブ」の方が約40名余りおられます。また、大潮他出後継者（大潮出身の方々）へも何かあるときは声を掛けています。

## 【どのような活動を行っていますか】

- ①大潮で一番大きなイベントは毎年6月に開催するホタル祭りです。

特設ステージではワンマンショーや舞踊、カラオケなどを披露し、各種バザーや地元特産品が当たる空くじなしの福引もあり、1,000人近いお客さんが来られます。

また、蛍がよく見られる場所に蛍公園を整備しました。他では見られない無数の蛍が乱舞する幻想的な雰囲気を楽しんでいただけます。



【ほたる祭り】

- ②夏に都市住民との交流会を行います。

日本の原風景に触れながら田舎体験を親子で満喫していただけます。

今年は大雨で中止しましたが、去年は61名の参加があり、柏餅づくり、そうめん流し、筏乗りやゴリ押し※1など、懐かしい昔ながらの営みを楽しんでもらいました。



【ゴリ押し】

※1「ゴリ押し」とは「ゴリ」という川魚を藁などで追い込んで捕獲すること。

- ③国道沿いや田の土手に桜や彼岸花を植え付けました。



【道路沿い植え付けられた彼岸花】

彼岸花は、これから計画的に広げて行きます。何年か後には里山の四季を彩り、地域の誇れる財産となるでしょう。

- ④国・県道沿いや川岸の草刈りを地域全体で行っています。不法投棄防止にもつながっています。
- ⑤大潮のシンボルである<sup>あざみがだけ</sup>筋ヶ岳や<sup>おとみやま</sup>弟見山の縦走路をファンクラブの方が整備されています。

<sup>あざみがだけ</sup>**筋ヶ岳**・・・島根県境にそびえる標高 1004m の山。周南市内では3番目の高さで、防長 100 名山のひとつ。頂上付近に岩場があり鎖を伝っての岩登りが楽しめ、麓の駐車場から頂上まで約 1 時間。

<sup>おとみやま</sup>**弟見山**・・・周南市と山口市、島根県との境にある標高 1085m の山。周南市の最高峰。筋ヶ岳からは片道約 1 時間、頂上付近はわりとなだらかで 1 日のコースとして最適。春には自生のカタクリの花も楽しめる。

※県内最長の錦川の源は、これらの山々にある。

- ⑥史跡、名所に案内看板を 23 か所設置しました。  
他所から来られた方だけでなく地元の私たちが地域の遺産を再認識でき、後世に伝えたいと思います。



【案内看板】

- ⑦見守り活動の一環として、偶数月の第 2 土曜日に 1 食 500 円で配食サービスを実施しています。また、年 1 回は無料で配っています。
- ⑧大潮の素晴らしい風景を撮ったフォトコンテストを実施しています。  
大潮の新たな一面が再発見でき、私たちが楽しみにしています。
- ⑨昨年、周南市の主催する体験型教育旅行が施行され、大潮地区でもホームステイを受け入れました。  
今宿小の 5 年生が宿泊され、川遊びや農業作業などを経験してもらいました。受け入れしてくれる民家は限られますが、子供たちに喜んでもらえ、私たちが孫が帰って来たようで元気が出ます。  
これからも創意工夫しながら継続したいと思っています。
- ⑩ホームページ公開<sup>※2</sup>や大潮だより「<sup>まるやま</sup>円山」<sup>※3</sup>（年 2 回）などにより、広く、地域に密着した情報を発信しています。

※2<http://www.ccsnet.ne.jp/~mitsu.isi/index.html>

※3 現在は廃校になった大潮小学校で、かつて児童たちが「おーい円山」と呼びかけていた大潮のシンボリックな山。

⑪毎年先進地を視察し研修に努めていますが、今年は長門市の仙崎と通<sup>かよ</sup>へ行ってきました。廃校舎の活用と体験型修学旅行の受け入れなどスローツーリズムの盛んな地域で勉強になりました。

**【どのようなことに苦勞されていますか】**

後継者の育成です。今の役員で50代は1人、あとは退職組です。他は、苦勞だとは思いません。

**【今まで一番うれしかったことは何ですか？】**

地域みんながまとまって、ファンクラブの方も来てくれ、いろいろな行事ができることです。みんな、すぐに率先して手伝ってくれることがうれしいです。



【土手の花植え】

**【これから大潮はどんな地域になればよいと思われませんか？】**

後継者を育て、今、私たちが行っていることを引き継いでくれたらと思います。大潮地区も高齢化していますので、地域でお年寄りを見守っていきたいと思います。

そして、外部からも人が来てくれるよう交流の場を設け、つながりを広げ、多くの方に大潮のファンになってもらいたいと思います。

人がたくさん来てくれると大潮が元気になりますから。